死 亡 届

亡くなられたときの届です。

根拠法令	戸籍法第86条～第88条、墓地、埋葬等に関する法律第8条
届出期間	7日以内 例) 4月1日に亡くなられたときは、4月7日まで ※国外で死亡の場合は3か月以内
届出地	死亡地、死亡者の本籍地、届出人の住所所在地(居所や一時滞在地)
届出人	次の順序が届出順位となります (1)同居の親族 (2)その他の同居者 (3)家主、地主又は家屋若しくは土地の管理人 (4)同居の親族以外の親族、後見人、保佐人、補助人及び任意後見人
必要書類	<ul style="list-style-type: none">・届書：死亡届記入例は下記をご覧ください・死亡診断書又は死体検案書（死亡届の右半分に印刷されています）・印鑑：届出人のもの（押印は任意です。押印する場合はお持ちください）・火葬場予約票（埼玉斎場組合斎場）を使用のとき
その他	<p>「届書に共通する主な留意事項」は必ず確認してください</p> <ul style="list-style-type: none">・死体埋火葬許可証を発行する際に、斎場（火葬場）名を記載して証明しますので斎場の名称を事前に確認し、予約のうえ、ご来所ください。 ※春日部市内の斎場は、「埼玉斎場組合斎場」のみです。 なお、同斎場の手続き、ご予約等は、斎場にお問い合わせください。 埼玉斎場組合斎場 春日部市内牧 1431 番地 電話 048 (752) 1531・死亡届出後の主な手続き（春日部市にお住まいであった方が対象です）については、埋火葬許可証に添付した死亡連絡カードをご覧ください。
関連の届出	死体埋火葬許可申請書
教示	死亡届の不受理処分がされたとき、戸籍法第121条により家庭裁判所に不服申立てができます。

死亡届記載上の留意事項

(1) 欄	死亡者の氏名は戸籍に記載されている文字で記載してください。
(3) 欄	日本人のときは和歴で、生年月日を記載してください。
(4)・(5) 欄	<ul style="list-style-type: none">・「死亡したとき」は死亡診断書もしくは死体検案書中の「死亡したとき」と同じ年月日時刻を記載してください。夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と記載します。「午後3時」を「15時」のように記載しないでください。・「死亡したところ」は死亡診断書もしくは死体検案書に医師が記載している「死亡したところ」と同じ場所を記載します。病院名（施設名）のことではありません。
(8)・(9) 欄	必ずいずれかにレ点チェックしてください。「いる」の場合は年齢も記載してください。
(10) 欄	必ず該当する番号の□にレ点チェックをしてください。
届出人欄	<p>届出資格をチェックする欄については、必ず該当する番号の前にある□にレ点チェックをしてください。</p> <p>また埋火葬許可証に続柄を記載するため、お亡くなりになられた方と届出人との具体的な続柄（「妻」「長男の二男」「兄」など）を窓口で確認いたします。</p> <p>死亡者から見た死亡者と届出人の続柄を明らかにしていただくようお願いします。（例）「妻」、「子」、「子の夫」、「子の子」、「兄の妻」等</p>

死 亡 届

令和7年2月14日届出
※届出日を記入してください。

埼玉県春日部市長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日					
送付 令和 年 月 日 第 号	埼玉県春日部市長 印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

(1)	(よみかた)	かすかべ	きょうこ
(2)	氏 名	氏 春日部	名 京子 ☐ 男 ☒ 女
(3)	生 年 月 日	明治 平成 大正 令和 昭和 7年 7月 7日	(生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) ☐ 午前 ☒ 午後 時 分
(4)	死亡したとき	令和 2年 12月 20日	☐ 午前 ☒ 午後 8時 33分
(5)	死亡したところ	埼玉県春日部市中央2	丁目 7 番地 15 号
(6)	住 所	埼玉 都・道 府・県 春日部市中央7	丁目 2 番地 1 号
(6)	(住民登録をしているところ)	(よみかた) かすかべ たろう (方書・マンション名)	
(6)		世帯主の氏名 春日部 太郎	ハイマート202
(7)	本 籍	埼玉 都・道 府・県 春日部市金崎839	丁目 番地 1 番
(7)	(外国人のときは国籍だけを書いてください)	筆頭者の氏名 春日部 太郎	
(8)	死亡した人の夫	☒ いる (満 90 歳)	いない (☐ 未婚 ☐ 死別 ☐ 離別)
(9)	または妻		
(10)	死亡したときの世帯のおもな仕事と	☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☒ 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(11)	死亡した人の職業・産業	(国勢調査の年…令和 年…の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください) 職業 産業	
	その他		
届 出 人	☒ 1. 同居の親族 ☐ 2. 同居していない親族 ☐ 3. 同居者 ☐ 4. 家主 ☐ 5. 地主 ☐ 6. 家屋管理人 ☐ 7. 土地管理人 ☐ 8. 公設所の長 ☐ 9. 後見人 ☐ 10. 保佐人 ☐ 11. 補助人 ☐ 12. 任意後見人 ☐ 13. 任意後見受任者		
	住 所	埼玉 都・道 府・県 春日部市中央7	丁目 2 番地 号 ハイマート 202
	本 籍	埼玉 都・道 府・県 春日部市金崎839	丁目 番地 1 番 筆頭者の氏名 春日部 太郎
	署 名	春日部 太郎	印 明治 大正 昭和 平成 5年10月10日生

事件簿番号

※届出人の印鑑(任意)を持参してください。
※埼玉葛斎場組合の火葬場を予約している方は、
仮予約票を持参してください。

※死亡届書の右側は、医師等の証明欄になります。

連絡先

電話 048(736)1111
(自宅)・勤務先 []・携帯

故人から見た届出人の続柄 夫

死亡届

令和 年 月 日届出

埼玉県春日部市長 殿

受理 令和 年 月 日	発送 令和 年 月 日					
第 号						
送付 令和 年 月 日	埼玉県春日部市長 印					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

(1) (よみかた)	氏 名		□男 □女
(2) 氏 名	氏 名		□男 □女
(3) 生 年 月 日	明治 平成 大正 令和 昭和	年 月 日	(生まれたから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) □午前 時 分 □午後 時 分
(4) 死亡したとき	令和 年 月 日	□午前 時 分 □午後 時 分	
(5) 死亡したところ	丁目 番地 番 号		
(6) 住 所	都・道 府・県	丁目 番地 番 号	
(6) (住民登録をして いるところ)	(よみかた) (方書・マンション名)	世帯主の氏名	
(7) 本 籍	都・道 府・県	丁目 番地 番 号	
(7) (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	筆頭者の氏名		
(8) 死亡した人の夫 または 妻	□いる (満 歳) □ない (□未婚 □死別 □離別)		
(10) 死亡したときの 世帯のおもな 仕事と	☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐ 6. 仕事をしている者のいない世帯		
(11) 死亡した人の 職業・産業	職業	産業	
その他			
届 出 人	☐ 1. 同居の親族 ☐ 2. 同居していない親族 ☐ 3. 同居者 ☐ 4. 家主 ☐ 5. 地主 ☐ 6. 家屋管理人 ☐ 7. 土地管理人 ☐ 8. 公設所の長 ☐ 9. 後見人 ☐ 10. 保佐人 ☐ 11. 補助人 ☐ 12. 任意後見人 ☐ 13. 任意後見受任者		
住所	都・道 府・県	丁目 番地 番 号	
本籍	都・道 府・県	丁目 番地 番 号	筆頭者の氏名
署名	印	明治 大正 昭和 平成	年 月 日生
(※押印は任意)			
事件簿番号			
故人から見た届出人の続柄			
連絡先	電話 ()	自宅・勤務先[]・携帯	

記入の注意

鉛筆や消えるボールペン等の消えやすいインキで書かないでください。

死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)にも用いられます。

◎届出人の印をご持参ください。

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付けて書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「5老人ホーム」は、養老老人ホーム、特別養老老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合、施設の名称に続けて、介護医療院・介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。1欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満期前」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満期産後満期前」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満期産後満期前」と書いてください。

1欄及び2欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関係のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付けて書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。

「5煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういった状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

氏 名	1男 2女	生年月日	明治 昭和 大正 平成 令和 年 月 日	(生まれたから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) 午前・午後 時 分
死亡したとき	令和 年 月 日	午前・午後 時 分		
(12) 死亡したところ 及びその種別	死亡したところ	番地 番 号		
(13) 死亡の原因	(ア) 直接死因	発病(発症) 又は受傷から 死亡までの 期間		
(14) ◆1欄、2欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください	(イ)(ア)の原因	◆年、月、日等の単位で書いてください		
(14) ◆1欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください	(ウ)(イ)の原因	ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例:1年3カ月、5時間20分)		
(14) ◆1欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください	(エ)(ウ)の原因	手術年月日	令和 平成 昭和 年 月 日	
手術	1無 2有	部位及び主要所見		
解剖	1無 2有	主要所見		
(15) 死 因 の 種 類	1 病死及び自然死 外因死 { 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 } 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 { 9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因死 } 12 不詳の死			
(16) 外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和・平成 昭和 年 月 日 午前・午後 時 分	傷害が発生したところ	都道府県 市区町村
(16) ◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	傷害が発生したところの種別	1 住居 2 工場及び 建築現場 3 道路 4 その他()	手段及び状況	
(17) 生後1年未満で 病死した場合の 追 加 事 項	出生時体重	単胎・多胎の別	妊娠週数	
(17) 妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	グラム	1 単胎 2 多胎 (子中第 子)	満 週	
(17) 1無 2有 [] 3不詳	母の生年月日	昭和 平成 令和 年 月 日	前回までの妊娠の結果	出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)
(18) その他特に付言すべきことがら				
(19) 上記のとおり診断(検案)する	診断(検案)年月日	令和 年 月 日		
(病院、診療所、介護医療院若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所)	本診断書(検案書)発行年月日	令和 年 月 日	番地 番 号	
(氏名)	医師			